

総務委員会

視察月日 五月九日、十日
委員 梅戸、鳥居、山田、漆畑
課長 広瀬 議事事務局 友高
視察地 群馬県伊勢崎市

視察概要

伊勢崎市一般行政沿革及地勢状況

伊勢崎市は両毛線(東北線小山-高崎線前橋間)中有数の工業都市であり、昭和十五年伊勢崎市、蓮運村、茂呂村、三ヶ町村合併して伊勢崎市制を施行、向本年一月十日三郷村、三月二十五日豊受村、名和村、宮郷村を夫々合併し、現在戸数一六、〇〇五戸、人口八五、八七六八、面積六五、四平方キロを有し、特産物に伊勢崎錦糸を産すること有名であるが、これは主として家庭工業に依り生産されるものであり、大企業大工場等は見えない。従つて非常な地味であり産業そのものは華々しくはないが、総て農閑期に於て賃職者を以て生産せられるので、根強いものがあることを感ぜられる。

役所事務機構について

(1) 去る四月三十日改選により市長(新人)当選し、機構についても今後改正せられると聞くが現在の機構は次の通りである。
総務課 商工課 社会課 土木課
水道課 税務課 会計課 農務課

事務処理状況

(2) 支払等については各所管課に於て支出調書を作成総務課経由決裁
2 助役、課長の専決事項は現在の処定でないが、近く研究実現する
3 超勤は支給方法が非常に不自然であり今後改正の要があるが、現在は月額として平均(超勤の有無にかかわらず)割当支給

その他

(1) 納税組合等の助成について
1 納税組合設立に意を用い育成に努力して居り、納税成績は良好助成金は組合員に限り納付期限迄に納付したものに付き金額の5/100を交付
2 特別徴収についても同様5/100である
3 特別徴収交付金について労組等の攻勢は無い
4 特別徴収金額は市民税額約四、八〇〇万円に対し一、四九〇万円であり約31%である

公営住宅関係

(2) 公営住宅については年々建設し、本年度も三六戸を予定して居るが起債補助金の枠が少く計画通り進まない。
(3) 商工関係の助成について
産業経済費二〇、五四六千円中商工費九、三〇〇千円であり、その殆んどである九、二八〇千円が補助負担金、交付金である。

国民健康保険の状況について

(4) 従来市に於ては実施して居ない。今回合併した三ヶ村に実施して居り今後の運営については具体的に未だ考へて居ない。
伊勢崎市においては四月改選後議会は召集されず、正副議長の選任も終つていない実状であり、前議会の議会運営及び委員会構成、議員報酬並びに費用弁償等について主として調査し説明を聴取したがその内容は左の通りである。

議会関係行政

伊勢崎市においては四月改選後議会は召集されず、正副議長の選任も終つていない実状であり、前議会の議会運営及び委員会構成、議員報酬並びに費用弁償等について主として調査し説明を聴取したがその内容は左の通りである。

議会運営については当市と大した差違は認められない。即ち提出議案の内絶対的多数は原案通り議決されて居る。それについては事前に提出を予想されて居る案件について委員会協議会という名称にて当局と調整し合ひ議案に提案されている現状である。又議会の最重要任務である当初予算については、事前に当局と議案とある程度大綱を連絡し合ひ本会議に提出し、款別に区分し、当市の如く担当委員会に附託して細部に亘り審議して後採決をして居る。

特集

議会常任委員会

行政視察報告

と税務課関係を担当している。社会委員会は伊勢崎市は課設置が社会課にて、衛生、厚生、商工関係の事務を担当している。委員会は社会委員として設置して居る。
経済委員会については市の発展は農業と商工業は相反しては期せられず、両方相俟つて始めてその発展は期せられるのではないかとの見地より市役所の課は農務、商工の両課が設置されているが議会は経済委員会としてある。
文教委員会については教育委員会との関係があり、文教委員会は単に予算の教育費の審議をするだけはその任務の任がある。伊勢崎市でもその存続について新議会においては相当論議の対照となるであろう。又委員会重点主義で議会運営をなすと議会より付託されない事項で委員会が会議を行つた時議員がそれらの問題について熟知したいという場合その点は如何にするかという点については適宜全員協議会を開き委員長

商工委員会

観光協会は現在市役所内に置いてあるが、従来は商工会議所に、観光施設等を行つて参りましたが、余り芳しからず市より補助金を交付して其の進展を図つて来た。商工会議所に対しては、昭和二十九年九月三十三日、三年度に於ては二十万円の予算である。商工課の人員は三十名で公設市場にも関係している。
市場は三ヶ村にて日用品を主として扱つて居り、場内に七十六の店舗がある。今後の観光面に關する方針としては、岡崎市に成可く多くの人を誘致したいと考え、煙火を打ち揚げる等の行事を盛大にし、競艇についても清原市、半田市等と共催にて考慮している。
競輪競馬については、競輪は豊橋市を借りて実施(組合組織)しており競馬は名古屋競馬場を借りて行つて居る等外収入にも力をそそいで居る。

二俣町観光行政

同町には二俣観光協会と天竜観光協会とがあつて連繫して居る。昭和十九年度補助金を得て施設を整備し鳥羽山公園の施設拡充を行つた。
現地の視察をなす
一、公園道路の増設延長
二、展望台(鉄骨やぐら)設置
三、野外劇場(コンクリート造り)
四、便所の増設
五、休憩所の新設
以上の実施と既設の簡易宿泊所(山の家)一棟、パンガロー五戸、井戸一ヶ所、野外炊事場一ヶ所、街灯施設三十灯等の設置にて一応公園の基礎をなしている。

視察月日 五月十六日、十七日

委員 時田(恵)、芝田、佐野(喜)
課長 落合
視察地 愛知県岡崎市
岩田郡二俣町

視察概要

岡崎市は最近九ヶ町村合併して人口十五万有るの市となる。重要産物として、ガラ紡と石材が主である。
岡市にある日本紡績会社の誘致の出来た主なる原因は、思想的によく良水が豊富であり、電力の供給がよかつた等の点である。

岡崎市商工行政

昭和三十年年度の予算総額は八億四千万に達する。昭和三十八年八億四千万に達する。昭和三十八年八億四千万に達する。昭和三十八年八億四千万に達する。

視察後における感想

両毛線伊勢崎駅に降りた瞬間に感じること、街に活気がないということ、税収入面が主たる仕事であるので、税の両面を委員には精通されて居る。税の両面を委員には精通されて居る。税の両面を委員には精通されて居る。

課長 佐野

視察地 群馬県伊勢崎市

伊勢崎市土木行政

市制施行年月日昭和十五年九月十三日
面積 六五、四〇〇平方尺(昭和三十年三月二十五日吸収合併のため増大)
三〇、二四平方尺(富士市)
人口 八五、八七六八(合併前五七、三五六八)
四一、三八一人(富士市)

市役所関係員数

五八八八(合併直後につき一応旧村部の者其の儘吸収、市民一五六六につき一人の割)
一五八八(富士市)
土木関係員数
二七八(建築水道関係及工夫運転手共)
市民三、六五八八につき一人の割)
二三八(富士市)

都市計画の現況及区画整理の施行方針

都市計画の現況及区画整理の施行方針
方針都市計画の認定は昭和十九年に受けたもの(富士市は昭和十九年六月二十二日)実際の事業に着手したは二十一年度より着手したが、極く一部の街路を施工したに過ぎず、結局街路の交差、家屋の移転等の交渉が困難のため、今後の方針は区画整理により街路網の整備を行う方法を取りたいとの意見であつた。随而此れが基本計画を行うために都市の現況測量も昨年度より開始して現在約一〇〇万坪程度完了して居る。

区画整理は本年度より以前の区域を

区画整理は本年度より以前の区域を
区画整理は本年度より以前の区域を
区画整理は本年度より以前の区域を

目的

目的
本会は富士市に於ける社会事業関係者及び社会福祉に關心をもつ地域居住者が相協力して地域社会福祉の増進を図ることを目的としています。

事業の概要

事業の概要
(1) 青少年福祉対策推進
(2) ヒロポン禍徹底撲滅
(3) 結婚簡素化啓蒙
(4) 国民健康保険実施促進
(5) 世帯更正運動推進
(6) 法外援護対策

八月以降実施予定表

八月以降実施予定表
八月 理事会
九月 理事會
十月 理事會
十一月 理事會
十二月 理事會

富士市社会福祉協議会の目的及び事業の概要について

富士市社会福祉協議会の目的及び事業の概要について
平時の流水は所に依つては充分でなく所も見受けられ、塵埃の積りたおる様な所もある。当市のものと比較して割合に断面が大きく取つてある様に見受けられ、豪雨等の場合は相当役立つことと思われる。

目的

目的
本会は富士市に於ける社会事業関係者及び社会福祉に關心をもつ地域居住者が相協力して地域社会福祉の増進を図ることを目的としています。

事業の概要

事業の概要
(1) 青少年福祉対策推進
(2) ヒロポン禍徹底撲滅
(3) 結婚簡素化啓蒙
(4) 国民健康保険実施促進
(5) 世帯更正運動推進
(6) 法外援護対策

八月以降実施予定表

八月以降実施予定表
八月 理事会
九月 理事會
十月 理事會
十一月 理事會
十二月 理事會